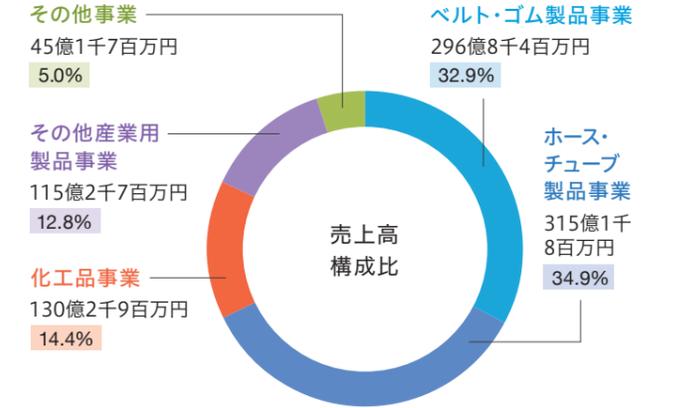


事業紹介

創業以来「お客様と社会に役立つことをしよう」という想いを抱き、時代の変化に柔軟に対応し、現場でのものづくりの「願い」をカタチにしていくことで産業界に貢献してきました。これからも人々の幸せにつながる「未来へ導く製品」で、広く社会に貢献していきます。



セグメント	製品および用途	2025年3月期セグメント別売上高・利益	2025年3月期の振り返り	ビジョン	取り組む注力分野	貢献するSDGs
ベルト・ゴム製品事業	<p>ベルト製品：繊維機械、郵便機械、金融機械、物流機械</p> <p>搬送用製品：食品搬送、物流センター</p> <p>ゴム製品：工作機械摺動用ワイパ、橋梁用伸縮装置等</p> <p>感温性粘着テープ：電子部品製造装置</p> <p>R F I D 製品：リネン対応、金属対応</p>	<p>32.9%</p> <p>売上高：29,684百万円 セグメント利益：3,473百万円</p>	<p>国内では、電子部品向けの感温性粘着テープの需要が堅調でしたが、前年度のリネン業界向けのRFID製品の特需が収束しました。海外では、北米で物流業界向けのベルト製品の需要が好転し、また、アジア地域で電子部品向け等のベルト製品の需要が堅調でした。以上の結果、売上高は296億8千4百万円と前連結会計年度比1億4千8百万円の増加(0.5%増)となりました。セグメント利益は、34億7千3百万円と前連結会計年度比3千4百万円の増加(1.0%増)となりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新製品・新事業の創出 ●既存事業の更なる深化と成長 ●新市場・新顧客の獲得 ●コスト競争力の強化 ●新用途の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ●グローバル企業の獲得 ●省エネ対応製品の開発 ●軽搬送領域へのリソース投入 ●ゴムおよび鋼製ジョイントのラインナップ拡充 ●感温性粘着テープの新規市場開拓 	<p>8 質実量豊な成長</p> <p>12 持続可能な消費</p>
ホース・チューブ製品事業	<p>樹脂ホース製品：建設機械、商用車、工作機械</p> <p>チューブ製品：半導体製造装置、乗用車、商用車</p> <p>メカトロ製品：産業用ロボット</p>	<p>34.9%</p> <p>売上高：31,518百万円 セグメント利益：147百万円</p>	<p>国内では、半導体製造装置向け製品が回復傾向となり、また、自動車製造ライン向けのメカトロ製品が堅調に推移しましたが、自動車業界や建設機械向け製品が低調でした。利益面では原材料価格上昇の販売価格への転嫁が進みました。海外ではアジア圏、特に中国で自動車業界や建設機械向け製品が低調でした。以上の結果、売上高は315億1千8百万円と前連結会計年度比1億7千9百万円の減少(0.6%減)となりました。セグメント利益は、1億4千7百万円と前連結会計年度比1億3千9百万円の増加となりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●既存事業の持続的成長 ●成長分野への製品用途拡大 ●製品開発の加速および海外新規顧客開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ●グローバルの成長市場のアプリケーション開拓 ●脱炭素社会に向けた成長産業への参入 ●最適地での生産・調達による更なるグローバル化 	<p>8 質実量豊な成長</p> <p>12 持続可能な消費</p>
化工品事業	<p>ゴム製品：鉄道車両、トラック・バス、船舶、生コン打設車両(空気ばね、防振ゴム等)</p> <p>エラストマー製品：OA機器(クリーニングブレード)</p> <p>樹脂製品：衛生車両、建築・土木施設</p> <p>引布製品：ガスメーター、大型貯留設備</p> <p>建築・土木製品：マンション等建造物屋上、最終処分場、貯水池(防水・遮水シート)、陸上競技場・多目的コート(弾性舗装材)</p>	<p>14.4%</p> <p>売上高：13,029百万円 セグメント利益：1,015百万円</p>	<p>国内では、鉄道向けゴム製品が堅調に推移しました。海外では、OA機器向けエラストマー製品や鉄道向けゴム製品が堅調に推移しました。以上の結果、売上高は130億2千9百万円と前連結会計年度比12億6百万円の増加(10.2%増)となりました。セグメント利益は、10億1千5百万円と前連結会計年度比前連結会計年度比5億6千万円の増加(123.3%増)となりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●既存事業の更なる深化 ●新市場・新顧客の獲得 ●コスト競争力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●品質強化 ●コスト競争力強化 ●海外成長市場への挑戦および海外生産の拡充 	<p>8 質実量豊な成長</p> <p>12 持続可能な消費</p>
その他産業用製品事業	<p>空調製品(フィルタ)、測定器：クリーンルーム(半導体製造会社、製薬会社、病院等)</p> <p>医療用ゴム製品、プラスチック製医療機器：血液回路</p>	<p>12.8%</p> <p>売上高：11,527百万円 セグメント利益：261百万円</p>	<p>空調製品は、半導体業界や製薬業界、病院向け等のフィルタ製品の需要が堅調に推移しましたが、測定器等の需要が低調でした。以上の結果、売上高は115億2千7百万円と前連結会計年度比5千2百万円の増加(0.5%増)となりました。セグメント利益は、2億6千1百万円と前連結会計年度比1億7千7百万円の減少(40.4%減)となりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネ、省資源、省コスト貢献製品の拡販推進 ●既存事業の持続的成長 ●バイオ除染システムビジネスの拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ●成長新分野向け新製品開発の加速 ●環境配慮型製品の拡販 ●原価低減によるコスト競争力強化 ●ライフサイエンス分野への事業展開 	<p>7 持続可能なエネルギー</p> <p>15 持続可能な消費</p>
その他事業	<p>不動産事業：土地および建物の賃貸</p> <p>経営指導事業：関係会社に対する経営指導</p> <p>自動車運転免許教習事業、森林事業 等：自動車運転免許教習事業、森林事業、畜産事業、業務受託</p>	<p>5.0%</p> <p>売上高：4,517百万円 セグメント利益：2,218百万円</p>	<p>不動産事業、経営指導事業、自動車運転免許教習事業、森林事業を含む、その他事業の売上高は45億1千7百万円と前連結会計年度比4億3千9百万円の増加(10.8%増)となりました。セグメント利益は22億1千8百万円と前連結会計年度比3億8千8百万円の増加(21.2%増)となりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車運転免許教習事業での指導技術向上による自動車事故と交通違反のない社会 ●次世代に森林資産を引き継ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様満足度向上活動 ●木材由来成分の活用 ●苗木供給数の安定化 ●持続可能な森林経営の確立と蓄財積[※]の増加 <p>※蓄材積：保有する社有林における立木材積(単位は立方メートル)の総和</p>	<p>8 質実量豊な成長</p> <p>15 持続可能な消費</p>